

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-686
研究課題名 小児腹部手術における臍部アプローチの有用性の検討
研究期間 西暦 2014年 3月（倫理委員会承認後）～ 2016年 3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録 ）
上記材料の採取期間 西暦 2008年 6月～ 2013年 10月
意義、目的 小児期にうけた腹部手術創は長期にわたり体に残る。よって如何に目立ちにくく、かつ安全に手術を行えるかは、小児外科医の永遠のテーマである。 臍を使った切開創は、臍のしわに隠れ、成長とともに相対的に臍が小さくなるため目立ちにくくなる。当科では臍部創での腹部手術に積極的に取り組んでおり、今回、本症例の状況、結果について解析し、本アプローチの有用性について検討する。
方法 対象は、2008年6月から2013年10月までに東北大学病院で施行された腹部手術例のうち、臍部創からの手術例104例を対象とする。 診療録より、年齢、疾患名、術式手術術式、術後合併症、創部の延長、追加の可否、腹腔鏡の併用の有無について、後方視的に解析する。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院 小児外科 工藤 博典 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 TEL：022-717-7237、FAX：022-717-7240